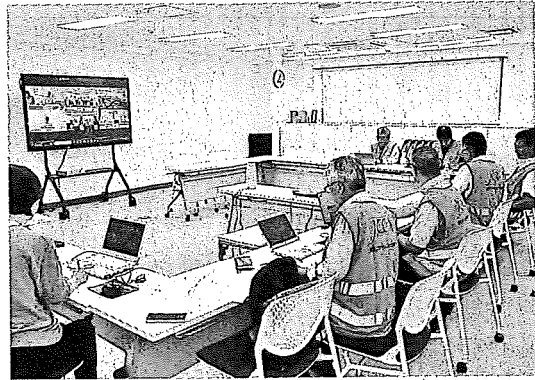


## 災害時の情報伝達手順確認 建コン協九州支部らに対応演習



（一社）建設コンサル  
タツ協九州支部（福  
山泰治支部長）は1日、  
協会本部や各支部、北陸  
地方整備局などとともに  
災害時対応演習Ⅱ写真Ⅱ  
を実施し、緊急時の情報  
伝達手順などを確認し  
た。新潟県で大規模地震  
が発生した想定で、オン  
ライン会議ツールなどを  
用いて連絡を取り合いな

がら演習に取り組んだ。  
災害時にもスムーズに  
連携しながら、支援体制  
を構築していくために実  
施している。今回は、新潟  
県長岡平野西縁断層帯を  
震源とするマグニチュー  
ド8.0の大規模地震が  
発生し、広範囲で甚大な  
被害を受けたことを想  
定。北陸支部に災害対策  
現地本部を設置し、東京  
の協会本部と各支部が要  
請などを受けて支援する  
手順を、災害発生から経  
過した時間ごとにステー

ジを分けてシミュレー  
ションした。演習では電  
子メールの送受信等を行  
い、情報伝達が正確に実  
施できているかを随時確  
かめながら進化した。

終了後の反省会では、  
演習時に浮上した課題  
や、各自の取り組みにつ  
いて、本部や各支部がそ  
れぞれ意見などを述べ  
た。災害時には情報伝達  
が重要となるため、連絡  
ツールに関する意見が拳  
がり、オープンチャット  
を活用すると決めた支部  
もあった。

九州支部は、会員各社  
に配置している、夜や休  
日も対応可能な緊急時連  
絡網にメールを送る独自  
演習を行ったと報告。1  
58社に2人ずついる担  
当者に緊急連絡する演習  
で、メール送信から1時  
間半で110社から返答  
があった。反応がなかっ  
た会社もあるため、今後  
はより適切な対応ができ  
るように努めたいとして  
いる。